



今年には伝統ある羊かんなど
和菓子製造メーカーである
「虎屋」が八木町北広瀬地内で
工場を新築し、操業をいたし
ます。
南丹の地は、昔から都の菓
子づくりには不可欠な小豆の
生産地でありました。
工場の立地により小豆の増
産や地元雇用の拡大が図られ、
地域が潤い、工場も自然豊か
な南丹市に溶け込み、まちが
活性化することを期待いたし
ます。

『地場産業の育成と
地元雇用の拡大を』

宅間 敏雄さん

(八木町北広瀬)



『来てよかった、
住んでよかった
という市に』

松本 初美さん

(八木町木原)

南丹市発足から一年、わが
家も昨年は長男が結婚をして
同居を始めました。本当に良
い年でした。
今、私たちの所ではJR複
線化工事や地区内の河川工事
も始まりました。
旧八木町から引き継がれて
いる吉富駅周辺の土地区画整
理事業が今年本格的にスター
トの年になると聞いています。
若い人たちが南丹市に「来
て良かった、住んで良かった」
という市になればと願って
います。

地域の個性
つながり



市民の皆さまに

下吉田の味噌加工にかかわ
って十八年、今年七十代も半
ばの一人暮らしです。農閑期
は加工所に来なければ、みん
なと出会う機会がありません。
神経も使うし気も張りますが、
ぼんやりしていたら体がなま
ります。「今日も加工所へ…」
と思う気持ちが元気の素です。
一日仕事ができたといい喜び、
みんなと顔を合わせおしゃべ
りできたという喜び、それが
私の生き甲斐でもあります。
みんなで励まし合って美山の
特産品を守り育てたいです。

『お連れにして
もらうのがうれしくて』

山内 佳子さん

(美山町下吉田)



『高校生活の良い
スタートを切りたい』

仲江 啓太さん

(美山町三埜)



今年、三年間、たくさん
の事を学んできた美山中学校
を飛び立っていかなければな
りません。四月からは高校生
になり、また新しい生活がス
タートします。僕には進学し
たい高校があります。希望が
実現するよう、まずは受験勉
強に力を入れます。そして
高校では、勉強に力を注ぐ
のはもちろんのこと、たくさ
んの友達とともに楽しい生活
を送りたいです。
高校生活の良いスタートが
きれるようにしたいです。